

科目名	災害・防災危機管理演習			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	4単位
担当教員	◎教授 橋田要一 講師 高梨利満 講師 酒本瑞姫 講師 菊川忠臣					科目ナンバー	T5C108
課程	修士	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	様々な災害を想定した病院前救急救護現場行動要領(トリアージ、現場救護所、災害対策本部、DMAT連携要領など)、災害机上シミュレーション、大事故災害計画の立案・模擬演習を行い、指導的立場から管理教育できる能力を学修する。						
授業の到達目標	①国内で発生した集団災害を参考に、効率的な病院前救急救護現場行動要領を検討できる。 ②集団災害の机上シミュレーションを実践し、良好なマネージメント案を提唱できる。 ③課題に関連するフィールドでフィールドワークを行い、その結果をプレゼンテーションできる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【第1週～第8週】 病院前救急救護現場行動要領の策定演習 国内で発生した自然災害、人為災害、テロ災害・CBRNE災害を参考に、METHANE、CSCATTTなどの災害の基本対応に基づいた活動要領を小グループで検討し、効率的な病院前救急救護現場行動要領及びクライシス・マネージメント計画を根拠に基づいて策定できる。</p> <p>【第9週～第17週】 災害机上シミュレーション演習 都内のある地域を想定した大事故災害シナリオの机上シミュレーションにて、災害現場管理、災害現場指揮、災害現場活動、DMAT、災害関係機関との連携などを検討し、クライシス・マネージメント計画を根拠に基づいて策定できる。</p> <p>【第18週～第24週】 課題フィールドワーク 大事故災害演習、個別災害演習のフィールドで、フィールドワークを行い、その結果を発表する。</p> <p>【第25週～第30週】 自己の課題の明確化と研究方法の検討 第1～24週を振り返り、自己の課題を明確化するとともに、多面的な解決方法を検討する。</p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に60時間以上の予復習が必要。					
教科書	課題に関連した災害事例の文献、資料。						
参考書	課題に関連した災害事例の文献、資料。						
成績評価の方法および基準	討論態度30%、プレゼンテーション30%、レポート40%						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。カリキュラムマップのDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						